

看護実践・キャリア 支援センター通信

Vol.34

2026年
7月

目次

	頁	頁
・看護学科生へのキャリアデザインプログラム(1・4年生)	1	・看護学科生へのキャリアデザインプログラム(2年生) 3
・看護学科「看護研究特論」聴講	1	・看護学科生へのキャリアデザインプログラム(3年生) 3
・キャリアアップ相談会	2	・地域貢献事業(睡眠ケア) 4
・エドゥケーター育成プログラム	2	(令和8年度 ①新人看護職員研修) 4
・看護学科と看護部の連携促進のためのプログラム	2	・今後のセンター事業 4

4月

看護基礎教育

看護学科生へのキャリアデザインプログラム(1・4年生)



奈良県看護協会 春木邦恵会長

当センターでは、看護学科生のキャリア形成に向けた支援を行っています。

4月3日には、就職活動を本格的に開始する4年生を対象に、奈良県での就職促進を目的とした講演会を開催しました。奈良県看護協会の春木邦恵会長には「奈良県の医療体制や看護職の就職状況」について、また、看護学科の升田茂章教授には、就職活動に必要な「社会人としての基礎」についてご講演いただきました。



奈良医大附属病院 石飛悦子看護部長

4月6日には入学時オリエンテーションにおいて、新入生の看護への動機づけを目的とした講演会を開催しました。石飛悦子看護部長に、「これから看護を学ぶ皆さんに伝えたいこと」と題してご講演いただきました。ご自身の学生時代からコロナ禍を経て現在に至るまでのさまざまな看護現場での経験をもとに、患者のために改善へのアプローチを模索し続ける看護のあり方についてお話しされました。

4～5月

研究支援事業

看護学科「看護研究特論」聴講

大学教員と附属病院の看護師が協働することで、学術的な知見と臨床での実践を基盤とした研究に取り組めるよう支援しています。

今年度も、共同研究予定者を含む附属病院看護職の希望者を対象に、医学部看護学科開講の「看護研究特論」(令和8年4月8日～5月13日、全8講義)の聴講を実施し、58名の看護職が受講しました。講義では、研究のプロセス、文献検討、研究デザイン、研究計画書の作成、研究倫理、研究方法などについての授業を熱心に聴講されていました。



端末を使用した文書検索方法を学ぶ(4/8)

6月

看護実践教育事業 キャリアアップ相談会



経験者の具体的なアドバイスを聞く

当センターでは、さまざまな機会を通じて、附属病院の看護職による専門・認定看護師資格の取得や大学院進学などのキャリアアップを支援しています。今年度からは、キャリアアップを目指す看護職とその経験者をつなぐキャリア支援を開始し、随時相談を受け付けています。6月9日には大学院進学や特定行為研修の受講を検討している人を対象とした相談会を開催し、7人の方が参加されました。今後も1人でも多くの看護職のキャリア形成とキャリアアップ支援をしていきたいと考えています。

6月

看護基礎教育 エデュケーター育成プログラム

エデュケーター育成プログラムは、看護学科の協力のもと、看護に関する教育場で活躍できる人材の育成を目的とした1年間のプログラムです。今年度は3名が受講し、関連書籍を用いた抄読会や外部研修を受講しています。また看護学科の授業・演習への参加を通して、看護基礎教育の現状や学生のレディネスについて学んでいます。

6月11日には、実習指導者を対象とした公開研修を開催し、附属病院の実習指導者20名が参加しました。看護学科長である川上教授による「看護基礎教育の現状と課題、新カリキュラム」の講義に続き、奥田教授から「実習指導場面の検討」について学びました。その後の情報交換では、参加者が実習指導における課題や工夫について意見を交わし、学びを共有する機会となりました。

6/11「看護の現状と指導者としての関わり方」



講師

川上あずさ教授
(看護学科長・小児看護学)



奥田淳教授
(精神看護学)



実習環境をより良くするために必要なことは

7月

看護基礎教育 看護学科と看護部の連携促進のためのプログラム

当センターの設立の目的を達成するための一つに、看護部と看護学科の相互交流があります。現在、その基盤は整ってきたと思われますが、看護学科が畝傍



エデュケーター育成プログラム第1期生の報告

山キャンパスに移ったことから、その維持に向け、定期的な交流の機会はこれまで以上に重要となってきます。今回は7月1日に開催された看護学科臨地実習連絡会議の機会にエデュケーター育成プログラム第一期生の報告がありました。

これからも「顔の見える繋がり」を大切に、取り組んでいきたいと思っています。

7月

看護基礎教育

看護学科生へのキャリアデザインプログラム(3年生対象)



別役 綾香 CNS
(小児センター)



池田 千明 CN
(創傷相談室)

講師



思いの実現のための踏み出す(別役さん)



失敗から自分を見つめ直す(池田さん)

7月3日、看護学科3年生を対象に「私のキャリア-附属病院で活躍する先輩看護師たちの実践」を開催し、小児看護専門看護師の別役綾香さんと皮膚・排泄ケア認定看護師の池田千明さんにご講演いただきました。

別役さんからは、奈良医大を経てオーストラリア留学や大学院進学、小児専門看護師を目指した経緯についてお話いただきました。子どもと家族を支える看護の重要性を実感し、専門性を深めながら挑戦し続けることの大切さが語られました。

池田さんからは、皮膚・排泄ケア認定看護師として褥瘡や創傷ケアに携わる実践内容や、多職種と連携しながら看護の質向上に取り組む役割について紹介いただきました。また認定看護師の資格取得に繰り返し挑戦した経験を通して、自分を客観的に見つめながらキャリアを築く重要性について語られました。

アンケートでは、講師の努力を重ねながら挑戦し続ける姿勢に刺激を受けたという意見が多く聞かれました。

今回のプログラムを通して、専門性を高めながら成長し続ける看護職の姿に触れ、自身のキャリアや学びについて考える貴重な機会となりました。

7月

看護基礎教育

看護学科生へのキャリアデザインプログラム(2年生対象)

7月9日、看護学科2年生を対象に、「臨地実習を前のあなたへ-これからのキャリアと実習へのヒントをつかもう」を開催しました。

中村看護副部長からは、ご自身の経験をもとにキャリアについてお話いただきました。迷いや悩みを重ねながらも、自分の価値観や強みを理解し、主体的に選択していくことでキャリアが形成されること、また、人のつながりや経験の振り返ることの大切さについて語られました。

十川さん、前田さんからは、基礎看護学実習や新人看護師としての経験をもとに、患者とのコミュニケーション、実習への準備、夜勤での学び、報告・連絡・相談の重要性など具体的なアドバイスがありました。特に、「自分に完璧を求めすぎない」「悩みもやりがいも人との関わりの中で生まれる」「周囲と支え合いながら成長していく」といったメッセージは、実習を控えた学生たちの心に深く響いたようです。

学生たちにとって今回のプログラムが、今後の学習や実習が未来の看護に繋がると実感できた機会となりました。



中村由美看護副部長「キャリアとは未来の肩書きではなく、今日の選択の積み重ね」



十川 真菜さん



前田 玲音さん

附属病院勤務の先輩の学生時代から
今に続く体験談を聞く

7月 地域貢献事業

「最新の知見から患者と看護師の睡眠問題を考えてみませんか」



講師 山内基雄教授

7月11日、奈良県立医科大学医学部看護学科臨床病態医学講座教授の山内基雄先生を講師にお迎えし、睡眠ケア研修を開催し、院内外から23名が参加しました。



睡眠が及ぼす影響を改めて学ぶ

向まで幅広い内容について学びました。講義では、睡眠時間の適正には個人差があることや、サーカディアンリズム（体内時計）、レム睡眠とノンレム睡眠の役割、睡眠不足が健康や日常生活に及ぼす影響などについてわかりやすく解説されました。また、自身の睡眠パターンを確認するワークを通して、睡眠を科学的に捉える視点を学ぶとともに、自らの生活習慣を振り返る機会となりました。

参加者からは、「睡眠に関する正しい知識が深まった」「睡眠の大切さを改めて実感した」「自分の睡眠習慣を見直したい」といった声が寄せられました。また、自身の睡眠管理に加え、高齢者や夜勤従事者への支援、睡眠薬に安易に頼らない支援のあり方、患者の睡眠状態の適切なアセスメントなどに今後の実践で活用していきたいという意見も多く聞かれました。



睡眠日誌を解説

令和8年度 院内看護職員研修 ～①新人メンタルヘルス研修

当センターでは、年間を通じて新人看護職員を対象とした院内研修を実施しています。その一環として、昨年度から、環境の変化や業務への適応による疲労が表れやすい入職約3か月後に、メンタルヘルスケア研修を開催しています。研修では、自分自身を大切にしながら心身の状態を客観的に見つめる「セルフモニタリング」について学び、自身の努力や成長を認めること、また仕事に前向きに取り組む方法を考えたりする機会となっています。

今回の研修には他職種の新人28名も参加しました。共に学ぶことで相互理解を深め、多職種協働の推進につながることが期待されます。



講師 石 葵先生
(ナースにこそケアをwith代表)



7/21 新人メンタルヘルスケア研修

☆地域貢献事業

今後のセンター事業

「ケアする方もケアされる方も楽になる認知症看護」

日時:令和8年9月12日(土) 10:00～16:00

講師:奈良県立医科大学附属病院 認知症看護認定看護師 池内勝継・松田恵美

「日々の看護実践を語り、聴き合う～リフレクション～」 日時:令和8年10月17日(土) 13:30～16:30

講師:奈良県立医科大学 看護実践・キャリア支援センター 教育サポーター 鈴木康美

「がん患者の生活を支える看護」 日時:令和8年11月14日(土) 13:30～16:30

講師:奈良県立医科大学附属病院 がん看護専門看護師 中濱 絢



地域貢献
事業案内
QRコード